

縣市町村歴史公文書等保存活用共同会議研修会・第1回部会の開催結果について

平成29年度に設置した「縣市町村歴史公文書等保存活用共同会議」の研修会及び本年度第1回目の部会を開催しました。

1 縣市町村歴史公文書等保存活用共同会議研修会・第1回部会の概要

(1) 開催日、場所 8月3日(金)、エキパル倉吉

(2) 研修会

○講師：太宰府市公文書館 藤田理子^{ふじたまさこ}氏

○内容：太宰府市における文書の評価選別について、公文書館設置の経緯や評価選別の具体的な進め方、職員の意識改革など、その取組や課題を説明いただいた。
実務に携わっている担当者としての苦労話も聞いた。

(3) 評価選別部会

○部会長：米子市を選出

○内容：評価選別基準の標準例に基づいて、今後市町村が歴史公文書等の評価選別の取組を進めていく上での課題について意見交換を行い、また、今年度のスケジュールについて決定した。

(4) 現用文書部会

○部会長：鳥取市を選出

○内容：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会電子決裁・文書管理システム部会と併催すること、部会長は両方鳥取市が就任すること決定した。
評価選別基準の標準例ができたことにより必要となってくる保存年限の見直しなど各団体に共通する課題や、現在の検討状況について意見交換を行った。また、費用を抑えて効率的に電子決裁・文書管理を行っていくためのシステム共同化の検討について意見交換を行い、今年度のテーマは「システムを学ぶ」に決定した。
その手法として、実際に電子決裁・文書管理システムを見たいという希望が多くあった。

2 今後の予定

(1) 部会の予定

ア 評価選別部会

選別基準の標準例による具体的な評価選別方法について、グループワークを通じて体験し、課題を把握し対応案を検討する。

イ 現用文書部会

実際にシステムで電子決裁・文書管理を行っている自治体を視察し、システムによる業務の流れのイメージをつかむ。

(2) 職員の資質向上のための研修等

- ① 10月に開催予定の中国・四国地区文書館等職員連絡会議での国立公文書館職員の講演聴講
- ② 希望市町村への訪問指導・助言